

＜学校教育目標＞夢(目標)に向かって、
「じぶんから みんなと いっしょうけんめい(校訓)」に取り組む児童を育成する。
～きらめけ!～

(数値目標)令和7年12月のCRT検査観点別得点率、令和8年度学力テストの観点別正答率において、
それぞれ個人で前年度の値+3ポイント(市、県、全国比)を目指す。

重点目標

- 1 思考力・表現力につながる「書く力」の育成
- 2 基礎基本の確実な定着
- 3 家庭・地域との連携の強化

目標達成のための重点指導事項

- ①国語科における「書くこと」「読むこと」の指導の充実
- ②各教科での「書く活動」の設定
- ③家庭学習の習慣化と充実

外海教育スタンダード(思考力・表現力向上に向けた取組)

①書く力の向上

- 国語科「書くこと」の授業改善・重点指導
- ・指導事項の明確化
- ・考えの形成を重視した授業展開
- ・書き言葉、文や文章、言葉遣いの繰り返し指導
- ねらいに即した「書く活動の設定」

②読解力の向上

- 国語科「読むこと」の授業改善・重点指導
- ・指導事項の明確化
- ・考えの形成を重視した授業展開
- ・「書くこと・読むこと」の複合的単元計画
- ・図表、写真等、情報の扱い方に関する事項
- リーディングスキルの視点を取り入れた授業

③学習意欲の向上

- 学びの意義を実感する学習活動の設定
- 学ぶ意欲が高まる魅力ある導入の工夫
- 「わかる・できる」事の楽しさを実感できる授業
(児童自身で表す学習のまとめ、振り返りの設定)
- 「自己決定」する場面の設定
- 立ち止まって学び合える学校掲示の工夫

④家庭・地域との連携

- 「家庭学習の手引き」の活用
- ・個の課題に合った「自学」の設定と振り返り
- ・基本的な宿題の全校統一(漢字・計算・音読・作文)
- 『そとめっ子』リズムカードの実施
- コミュニティ・スクールを生かした教育活動の推進

⑤基礎・基本の定着

- 活用をめざす漢字指導
- 個別課題をもった音読
- キュービナの取組(月間目標の設定と振り返り)

⑥授業を支える取組

- 読書活動の推進(学校図書館司書の選書による学級文庫の活用)
- 励みタイムの取組(CRTアシストシートの活用)
- 作文ノートの活用(伸びを振り返る作品の蓄積)